



# 「世界貿易に関する海運の役割」

## ～日生地区海運組合と協同で中学校出前講座を開催～

平成29年3月3日（金）、岡山県備前市の日生中学校1年生の各クラスを対象に、社会科授業の一環として、世界貿易に関する海運の役割や内航海運について、岡山運輸支局玉野庁舎と日生地区海運組合がそれぞれ講師を担当して出前講座を行いました。



やさしい口調で語りかける渡邊運労官



温かく見守る教頭先生

日生町は、ケミカルタンカーを中心とした海運事業者が数多く存在する全国的にも有名な地域ですが、ここでも船員不足は深刻な状況にあるため、今年も中学生を対象に将来の進路の選択肢を広げてもらいたい思いから、当支局の渡邊運労官が「世界貿易に関する海運の役割」と題して、世界の物流やそれに付随する内航海運の役割を、次に海運組合の竹原氏が日生地区の海運や歴史、将来の就職・進路先を担当し、出前講座を開催しました。



日生地区の海運を説明する竹原氏



神妙な面持ちで聞いている生徒達

講座では、我々の生活がほぼ100%海外物資の供給に頼っていることや、国内貨物輸送の約4割を内航海運が担っていることを、船員になるためにはいろいろな養成機関や学校があることなど、生徒達は終始神妙な面持ちで聞いていました。また、講座の最後には、ケミカルタンカーの進水式の様子が写され、生徒達以上に校長先生が感動していました。

中学生を対象とした出前講座は今回で2回目ですが、毎年継続して開催していくことで、国内物流を支える内航海運をPRし、少しでも興味や関心を持ってもらえれば幸いです。